



ストップ！

デイブイ DV・児童虐待



新型コロナウイルス感染症が長期化し、外出自粛や働き方の変化などで、家族が一緒に過ごす時間が増えています。一番安全で安心できる場所であるべき家庭で、どの場所よりも緊張を強いられているのは、DVや児童虐待を受けている人たちです。

被害者は加害者を怒らせないように緊張状態が続きます。そのため不眠、食欲不振、自信喪失、うつ状態など、深刻なダメージを受けます。

DVとは

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者やパートナー(事実婚や元配偶者も含む)、恋人など、親密な関係の人から受ける暴力のことをいいます。対等な立場で意見や気持ちをぶつけ合う夫婦喧嘩と違い、力の強い者から弱



DVの種類

- 身体的暴力**
殴る、蹴る、髪を引っ張るなど
- 心理(精神)的暴力**
怒鳴る、ののしる、侮辱する、無視するなど
- 経済的暴力**
生活費を渡さない、借金を強要するなど
- 社会的隔離**
外出や友人との付き合いを制限するなど
- 性的暴力**
性行為を強要する、避妊に協力しないなど



い者に対し、一方的に継続して暴力を振るわれている状態です。DVの多くが家庭内で起こるため、周囲も気づかないうちに暴力がエスカレートし、被害が深刻化しやすいという特性があります。

DVの悪循環

多くの場合、DVには凶のようなサイクルがあり、何度も繰り返されます。ハネムーン期に、今度こそパートナーは変わってくれるかもしれないと期待を抱き、離れるタイミングを失います。

加害者は「家事や育児、仕事などできていないお前が悪い」などと、何かと理由をつけて被害者を責めて、罪悪感や自責の念を持たせます。このように、被害者は自分が悪いからDVをされているのだと思いつまされていきます。

◆DVのサイクル



DVと児童虐待の関係

DVのある家庭は子どもも不安や恐怖などのストレス状態にさらされます。DVを受けている家庭では、DVと児童虐待が同時に行われている場合があります。

【事例】

- ①子どもが加害者から直接暴力を受けている場合。被害者は加害者への恐怖心から、判断力や感情が麻痺して、虐待を制止できないこともあります。
- ②子どもの目の前でDVが行われる場合。暴力や言い争いなどを見せることは心理的虐待(面前DV)にあたります。
- ③子どもが被害者から虐待を受ける場合。DVを長期的に受けると感情が無くなり、加害者から言われるがままに、子どもを虐待してしまふことがあります。

